

地域と共に歩む 三成幼稚園 創立50周年記念



三成幼稚園は、亀嵩・三沢幼稚園に続き、今年創立五十周年を迎え、十二月十五日、記念式典が開催されました。同園は、旧仁多町発足まもない昭和三十二年、三成小学校の二教室を利用して開設され、同年十二月に三成小学校校庭に独立園舎として竣工しました。

平成二年一月には現在の場所に移転改築し、昨年春までに二千二百十七名の卒園児を送り出し、多いときには七十名を超える園児が在園していました。

式典会場の一角には、五十

年のあゆみとして入園・卒園遠足など当時のなつかしい写真がアルバムで紹介されました。

また、園児たちによる歌や踊り、なかよし炎太鼓の演奏が元氣いっぱい披露されました。

板垣憲三園長からは「たくさんの地域の方々の支えがあったから三成幼稚園は五十年歩んでこられた。これから園児が明るく元気に過ごせるよう地域の皆さんと共に歩んでいきたい」と挨拶がありました。

更なる精進を誓う 剣道越年稽古

恒例の剣道越年稽古が、仁多郡剣道連盟の主催で仁多中学校武道場において行われました。

今年も町内の小中学生、横田高校の剣道部員、また帰省中の大学生、社会人など約七十名が参加しました。

緊迫した雰囲気が出ち込める中、恩師の先生や諸先輩、後輩との熱の入った稽古を行い、一年の稽古を納め、新年の更なる精進を誓いました。

米原郡剣道連盟会長からは「今年には十二支の初めの子年です。剣道を始めたときの初心を忘れず、自分の目標に向かって頑張ってください」と挨拶がありました。

また、岩田町長からは「小中高一貫した奥出雲町の剣道の目覚ましい活躍は、この厳しい稽古会から始まる鍛錬の賜物です。今年も各種大会での活躍を期待します」と挨拶があり、引き続き新春

年越しに勇壮な響き 仁多乃炎太鼓年越し演奏会

今回で十六回目を数える「仁多乃炎太鼓年越し演奏会」が、小雪の舞う県仁多土木事業所前で大晦日から元旦にかけて開催されました。

午後十一時頃から炎太鼓の「炎神楽」で演奏会は始まり、「深山」、「たたら離子」などお馴染みの曲や子供たちで結成されている「仁多乃飛炎太鼓」の元氣な演奏、ダンス部による華麗な舞が披露されました。

また今年も、雲南市からの特別参加もあり、華やかなパフォーマンスを繰り広げました。

岩田町長からは「奥出雲町を代表する芸能として国内外で益々活躍していただきたい」と激励と年頭の挨拶がありました。

煌々と輝く照明と篝火のもと、勇壮な太鼓の演奏と踊り子の皆さんとの共演に町内外から訪れた来場者か

の稽古始めが行われました。



熱の入った稽古

らは大きな拍手が送られました。



新しい年を祝い賑やかな演奏